

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」宇都宮		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に応じた支援プログラムを立案し療育を行っている中で、保護者も一緒に療育に参加できること。個々に合わせた教材づくりをおこなっている。	支援内容が毎回同じにならないようにする。教材が同じ時間で重ならないように、職員間で話し合って順番などを決定している。	利用者の習熟度に合わせ一人ずつ教材を考えている。
2	フィードバックで、しっかり振り返りが出来ることで、支援する側も最新の情報共有が出来ること。	混雑している時間帯でない限り、15分かけてゆっくりお話しをしたり、活動を行いながら、モニタリングを行ったり、と管理者だけでなく、指導員全員が保護者と深く話ができるようにしている。	家庭内相談という形でなくても、工夫点のおかげでどの指導員でも保護者から話を伺って、相談を受けることができる。その結果、関係機関連携へと進んだり、週コマ数が増えたりなどに繋がっている。
3	教室がオープンスペースになっているので目が届きやすいので管理者、指導員が支援状況を把握できる。	パーテーションを活用しながら他児との距離を保っている。	利用者が安心して利用できる環境整備を心掛け、支援スペースに入った際には気が散らないよう支援内容も工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室の立地上飛び出しの危険性がある	混雑が予想される時間帯の出入りが多く、駐車場が混み合ってしまう。また、教室前の道路の車の往来が多い。お迎えの時間をお伝えしたり、場合によってはFBをLINEでお伝えしている。	予定を組む段階で、利用時間帯の分散が必要。またフィードバックでお伝えしきれなかった部分はLINEでお伝えしていく。退室する際は保護者と手をつないでもらう。
2	必要な防災訓練を行って教室掲示で周知しているが、保護者から見えづらい。	月一忘れずに避難訓練を就学プログラム内で行っている。その際に保護者から許可を取って、訓練中の様子を写真撮影をし掲示しているが、掲示場所が目立たない。	避難訓練の様子の写真を掲載したり、掲示場所を変えたりして説明の文章を記載することによって保護者への周知を行う。
3	感染症発生時流行しやすい	毎日の清掃、消毒、適宜換気を行っている。また、指導員の体調管理に気を配っている。	毎日の清掃、換気、消毒を継続。利用者の健康状態を観察、把握していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇都宮校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 41名

回収数 37名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	10	1		1対1の個別療育では十分なスペースだと思うが活動部分は狭いと感じる。大きな声で話したり、はしゃいだりするので他の子の邪魔になっていないか心配です。	同じ時間に利用するお子さまによって場所を決めたり、パーティションを使用し利用者同士の組み合わせなども配慮し対応してきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	4			先生が何人かお休みの時は大変に感じる。適切とも思えますが人数を増員していただくと助かります。	今後も適切な基準人員を満たした運営をおこなってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	2		部屋に名前を付けてくれているので子どもが分かるようになっている。支援内容によっておもちゃを隠しているので安心する。	利用するお子さまによって支援スペースを考慮し快適に使用していただく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	5			座学に集中して行えるような作りになっていると思う。出来る限りで空調設備を整えて欲しい。整理整頓はされている。	利用するお子さまが集中して取り組んでいただけよう、整理整頓、空調調節等を行い進めてまいります。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1			発語に関する支援を受けられている。	職員の専門性を活かしながら情報共有をしっかりとごこない、質の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1			年長児になったら、就学支援プログラムに期待をしている。	年長児のプログラムの継続、その他早期プログラム等を実施し、保護者様のご要望にお答えしていきたいと思えます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1			発語だけでなく、子どもを見てしっかりプログラムを検討してくれたので。	個別支援計画については、事前にお子様、保護者様の要望を確認し、その上で事業所としての見立てを行っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	2		1	家族支援で相談した内容を支援に取り入れてくれていると思うので。	必要に応じ、適切な支援を見極めながら職員間で検討を重ね支援内容を設定してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	2		1	こちらの要望に沿って支援してくれている。	個別支援計画に沿った療育を提供しています。また、必要に応じ幼稚園へ伺い情報共有をさせて頂き支援内容の見直しを図っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4			とても工夫されている。いつも準備が素晴らしいです。	お子さまの成長に合わせ、支援プログラムの調整を行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	4	4	10	園と並行して通っているので、必要性を感じたことがない。	今後、ご利用様のニーズを踏まえて検討してまいります。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	2			きちんとありました。	契約時に契約書・重要事項説明書の内容とともに、保護者様の不明点などを確認しながら説明をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	3		1	支援内容の説明をきちんとされました。	お子様や保護者様のニーズを事前に確認し、ご家族のご要望に沿って作成し、支援計画に反映しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	5	1	14	家族支援の声掛けをしていただいた。	事業所内相談支援や保護者会の中で、保護者様の要望を確認しながら対応を進めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	37				家での様子や困りごとを聞いてもらっている。子育てで不安な気持ちに寄り添った助言がされているが、たまにきつと感じることがある。	お子様の成長に合わせて、保護者様との対話する時間を大切にしている。また、変更が必要と感じた場合には職員間で共有し進めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1		2	家での様子や困りごとを聞いてもらい、助言等ももらっている。	支援後のフィードバックや家族支援の機会を設け、お子様の支援と合わせて保護者様と面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1		2	ポジティブな話をしていたので親も、前向きになります。	ご家族のお話を伺いながら、一緒に課題に向き合い、ベストな方向性を見つけ助言をおこない支援をさせていただきます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	6	2	14	他の保護者との交流は無いが、特に必要とは思わない。8月の夏祭りではきょうだいも参加させてもらった。(きょうだい同士の交流はないと思う)	今後機会があれば保護者会の開催を定期的に行って行きたいと思えます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2		3	希望日に支援を受けられるよう調整して頂きました。	家族支援を行い課題解決に繋いでいきます。また、必要に応じて関係機関連携等を行って情報共有の場を設けていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35			2	そう思います。	保護者様より話を伺い、お子さまの情報等の共有を図っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	5	2	9		教室掲示だけでなくSNSでも周知していきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35			2	個人情報の書類が机に出してあったのが見えてしまったことがあった。	教室の構造上、目につきやすい状況になってしまうので、パーテーション等で目隠しするなど工夫をしています。利用者の個人情報に関して事務室の鍵付きロッカー内に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	5		4	マニュアルは作成されていると思うが参加したことがありません。	各種マニュアルに関してはファイリングしています。また、避難訓練に関しては、毎月実施しており実施日には利用者さんに参加いただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	4		8	事業所で訓練を実施しているのかわからなく参加したことがありません。	月1回テーマを決めた避難訓練を行っております。また、実際の避難を想定した訓練も定期的に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2		3	訓練をしている写真や話を聞いている。	事業所に安全計画を作成し保管しております。また、契約の際に避難場所等の説明を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2		5	事故等が無いのでわかりません。	日頃より安全面を意識し運営を進めています。また、ヒヤリハットがあった際には情報共有を行い、ユニットで対応について話し合っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				パーテーションで区切られているので。先生の名前を覚えて信頼している様子が伺えます。	安心して通っていただけるよう支援内容を工夫しお子さまに楽しく通ってもらえるよう努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36			1	いつも興味のあるものを準備してくれ楽しく通っています。	内容が固定化しないよう、常に質の高い支援を目指し取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2			専門的な知識を持った先生に相談できるので心強いです。他事業所にいかれた先生の言葉遣いで若者言葉が気になった。	それぞれの職員の専門分野を活かしながらご満足いただける支援を行って行きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」宇都宮校				公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	パーテーションで区切って他の教具等に目が行かないよう気を付けている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	職員がシフト制の為集中する時間帯の利用者さんの対応の際に小集団療育を取り入れている。	シフト制で公休日の指導員がいる際に時間帯によって支援数が多い。今後職員増加をしていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	入口の段差部分に、注意用の掲示ボードを設置。	クールダウンスペースが無いので、今後検討していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	ジョイントマットを敷いたり、パーテーションで仕切りを作っている。	教具等の置き場所が少ないので棚を設置するなど工夫をしたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	必要に応じてパーテーションで区切って個別の空間を作っている。	パーテーション等でしっかり個別空間の確保をしたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		情報共有を徹底している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		気になったことがあった際に相談できる環境、にあり参画出来ている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		空いた時間に職員全体で定期的に話し合いを実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	評価表の作成は行っているが、第三者評価は行っていない。内部監査や実地指導等実施済み。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月研修があり、質の向上にお繋いでいる。また、必要に応じて外部研修に参加している。	内部研修以外の研修や他事業所との情報共有の機会を作っていきたい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		情報共有を徹底している。他の指導員の支援内容、記録を参考に今の利用者さんの状況を踏まえプログラムの調整等を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		毎回フィードバックを行い、新しい課題にシフトしたり臨機応変に対応している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当者会議等で情報共有をし、個別支援計画を作成した際には、管理者より声掛けがあり内容を確認しプログラムを組んでいる。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		教室全体で把握している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個々の成長をみながら必要な課題を作成し情報共有し様々な教材や案を出し合い、支援に役立てている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		家族支援などを基に支援内容を見直し進めている。	地域での交流が少なく、地域連携が難しい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		就学プログラム担当のメンバーで話し合い立案を行っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		内容が固定化しないよう様々な教材や課題を提示し進めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		小集団や就学プログラムを実施しているので適宜組み合わせ支援が組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		スプレッドシートで予定確認を行い1日の流れを組んでいる。	職員数に限りがありイレギュラーが起きた場合の対応が難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	固定した時間で打ち合わせを行っている。	職員が公休等で揃わない場合に連絡漏れが出ないようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		支援人数の多い日は、後日支援記録の入力になってしまうので時間的に余裕がない場合がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング以外でも保護者様に声掛けを行わない教室全体で情報共有を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		関係機関連携などを通しお子さんの成長を見守りながら情報共有の場に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		幼稚園、保育園と連携し園のご様子を伺い事業所側の話とすり合わせを行っている。複数の選択肢を用意し、自己決定の場面を設けている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて支援内容を提示し情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		小学校によっては学校側で受け入れを行っていないところも多く、保護者を交えてご相談をさせて頂くように働きかけたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		児童発達支援センターの研修に参加し助言を頂き教室全体で情報共有を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		機会があれば参加したい。関係機関連携のみ実施のため。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎回フィードバックを行い情報共有をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ご家族のご要望があれば、こちらからも積極的に発信している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧に伝えし、疑問があれば質問にお答えしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者様のご要望を伺い、お子さまにとって最善の策を見つけ支援計画に取り入れている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		今後機会をみて交流の場を設けたい。全体で集まるのは難しいため機会を見て実施したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		家族支援を実施し、必要に応じて関係機関連携を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	4		指導員の異動などがあった為、新たに情報発信をしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの書庫でPC、個人情報を保管。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		発語の難しいお子さまに、iPadや絵カードを使用し意思の疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	事業所内での運営の為地域交流は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		月に一回避難訓練を行いテーマ別を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		非常時の避難グッズを備え定期的にチェックしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		フェイスシートの内容を確認し、変更の際に保護者様からの情報を共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	該当者なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理計画の作成を行い、定期的に研修に参加し必要に応じ話し合いを行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約、避難訓練の際に避難場所の提示を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起きた際には、上長と連絡を取り報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に虐待防止委員会を開催し、研修を行い情報共有を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		虐待防止委員会で研修を行い、情報共有を行っている。また、身体拘束の同意書に契約の際に保護者からサインを頂いている。		